

## まえがき

早稲田大学 21 世紀 COE・演劇研究センター

演劇理論（舞踊）コース

事業推進担当者 片岡康子

（早稲田大学客員教授）

市川雅ダンスコレクションは、舞踊研究者であり評論家であった市川雅（本名：市川雅章 1937—1996）氏が生涯にわたって収集した舞踊書籍および公演プログラムなどの貴重な資料によって構築されています。

1996年2月に市川雅氏が他界された後、上落合の自宅書斎が整理され、故人所有の舞踊および舞踊関連書籍と一部の博物が、2000年5月にご遺族を通して、客員教授を務められた母校早稲田大学文学部演劇映像専修に寄贈されました。大量の書籍はしばらく36号館7階の研究室に保管され、舞踊ゼミ院生による分類整理作業と並行しながら、院生の教材として閲覧利用されました。その後、早稲田大学21世紀COE演劇研究センター事業がスタートし(2002年度)、その事業の一環として演劇理論（舞踊）コースにおける「市川雅ダンスコレクション・アーカイブ構築」プロジェクトが実現したことを契機として、当コレクションは2003年1月に本部6号館3階演劇センター内に引越しいた

しました。同年10月には当コレクションの一部を目録化し演劇博物館ホームページ上で公開、さらに翌（2004）年には大学関係者ばかりではなく一般の研究者の閲覧にも対応いたしてまいりました。

この度、COE事業最終（2006）年度をもって、プロジェクトによる市川雅ダンスコレクション整備作業を終了いたしますので、本所蔵目録を作成いたしました。今後、当コレクション本体は演劇博物館所蔵資料に統合されます。

振り返ってみますと、当コレクションのプロジェクトは古井戸秀夫先生のご支援なしには開始できませんでした。その後、國吉和子先生の指揮のもとに、稲田奈緒美助手、川島京子助手、文学研究科舞踊ゼミ院生のみなさんには膨大な整備作業へのご協力を頂きました。ここにお名前を付して心よりの感謝を申し上げます。

最後になりましたが、ご理解を賜りました演劇博物館に心より感謝を申し上げます。